

# 平成 26 年度 事業報告及び財務状況

## I 設置校の概要(平成 26 年 5 月 1 日現在)

- 1 学生、生徒及び園児数
- 2 専任教職員数

## II 役員会の開催状況

## III 主な事業の目的・計画及び実績

## IV 決算の概要

- 1 消費収支決算
- 2 資金収支決算
- 3 貸借対照表
- 4 部門別消費収支決算内訳 (参考)
- 5 部門別決算額推移表 (参考)

# I 設置校の概要

## 1. 学生・生徒・園児数(平成26年5月1日在籍)

部門	学部・学科名等	収容定員 (A) 人	1年 人	2年 人	3年 人	4年 人	在籍合計 (B) 人	定員充足率 B/A	備考
大学	子ども育成学部	330 ( 330 )	101 ( 86 )	85 ( 77 )	80 ( 77 )	78 ( 78 )	344 ( 318 )	1.04 ( 0.96 )	
	現代社会学部	490 ( 490 )	111 ( 100 )	95 ( 102 )	100 ( 96 )	100 ( 136 )	406 ( 434 )	0.83 ( 0.89 )	
	小計	820 ( 820 )	212 ( 186 )	180 ( 179 )	180 ( 173 )	178 ( 214 )	750 ( 752 )	0.91 ( 0.92 )	
短大	食物栄養学科	160 ( 160 )	80 ( 90 )	89 ( 88 )			169 ( 178 )	1.06 ( 1.11 )	
	幼児教育学科	160 ( 160 )	83 ( 87 )	88 ( 91 )			171 ( 178 )	1.07 ( 1.11 )	
	経営情報学科	200 ( 200 )	102 ( 131 )	127 ( 112 )			229 ( 243 )	1.15 ( 1.22 )	
	福祉学科	140 ( 140 )	46 ( 48 )	46 ( 55 )			92 ( 103 )	0.66 ( 0.74 )	
	専攻科食物栄養専攻	30 ( 30 )	18 ( 16 )	16 ( 17 )			34 ( 33 )	1.13 ( 1.10 )	
	小計	690 ( 690 )	329 ( 372 )	366 ( 363 )			695 ( 735 )	1.01 ( 1.07 )	
高校	全日制課程普通科	730 ( 725 )	262 ( 294 )	277 ( 353 )	337 ( 220 )		876 ( 867 )	1.20 ( 1.20 )	入学定員 (24)245 (25)240 (26)245
幼稚園		84 ( 84 )	(3歳児) 31 ( 30 )	(4歳児) 31 ( 41 )	(5歳児) 43 ( 37 )		105 ( 108 )	1.25 ( 1.29 )	
総計		2,324 ( 2,319 )					2,426 ( 2,462 )	1.04 ( 1.06 )	

※1. 在籍合計欄の は定員割れを示す  
 ※2. ( )内は25年度の収容定員及び在籍人員(5月1日現在)

## [参考] : 平成27年度在籍数

部門	学部・学科名等	収容定員 (A) 人	1年 人	2年 人	3年 人	4年 人	在籍合計 (B) 人	定員充足率 B/A	備考
大学	子ども育成学部	330	96	99	89	81	365	1.11	
	現代社会学部	490	117	109	90	99	415	0.85	
	小計	820	213	208	179	180	780	0.95	
短大	食物栄養学科	160	104	79			183	1.14	
	幼児教育学科	160	110	83			193	1.21	
	経営情報学科	200	127	98			225	1.13	
	福祉学科	140	36	43			79	0.56	
	専攻科食物栄養専攻	30	16	18			34	1.13	
	小計	690	393	321			714	1.03	
高校	全日制課程普通科	735	289	250	267		806	1.10	入学定員 (25)240 (26)245 (27)250
幼稚園		84	(3歳児) 36	(4歳児) 33	(5歳児) 32		101	1.20	
総計		2,329					2,401	1.03	

## 2. 専任教職員数(平成26年5月1日在籍)

	本部 人	大学 人	短大 人	高校 人	幼稚園 人	合計 人	備考
教員数	— ( — )	△ 1 44 ( 45 )	0 40 ( 40 )	3 52 ( 49 )	0 7 ( 7 )	2 143 ( 141 )	特任教員を含む
職員数	3 ( 3 )	0 25 ( 25 )	0 24 ( 24 )	△ 1 4 ( 5 )	0 — ( — )	△ 1 56 ( 57 )	実習助手を含む
合計	3 ( 3 )	△ 1 69 ( 70 )	0 64 ( 64 )	2 56 ( 54 )	0 7 ( 7 )	1 199 ( 198 )	

※1. ( )内は平成25年5月1日在籍の人数である

## II 役員会の開催状況

○ 平成26年5月27日 理事会・評議員会

○ 平成27年3月25日 理事会・評議員会

区分	開催日現在の状況		開催年月日	議 事 内 容
	定 員	現 員(a)		
理 事 会	20~26	21	平成26年5月27日	<b>第216回理事会</b> 議案第1号 平成25年度事業報告及び決算報告の件 → <b>議決</b> 議案第2号 常務理事選任の件 → <b>議決</b> 議案第3号 監事専任の件 → <b>議決</b> 議案第4号 学識経験者のうちから評議員選任の件 → <b>議決</b> 議案第5号 富山短期大学学則の一部改正の件 → <b>議決</b> 議案第6号 富山国際大学付属高等学校学則の一部改正の件 → <b>議決</b>
		21	平成27年3月25日	<b>第217回理事会</b> 議案第1号 平成26年度資金収支補正予算案及び消費収支補正予算案に関する件 → <b>議決</b> 議案第2号 平成27年度事業計画案並びに資金収支予算案及び事業活動収支予算案に関する件 → <b>議決</b> 議案第3号 富山国際大学学則の一部改正の件 → <b>議決</b> 議案第4号 富山短期大学学則の一部改正の件 → <b>議決</b> 議案第5号 富山短期大学学長選考の件 → <b>議決</b> 議案第6号 学識経験者のうちから評議員選任の件 → <b>議決</b> 議案第7号 法人の設置する学校卒業生のうちから評議員選任の件 → <b>議決</b> 議案第8号 法人職員のうちから評議員推薦の件 → <b>議決</b>

区分	開催日現在の状況		開催年月日	議 事 内 容
	定 員	現 員(a)		
評 議 員 会	41~53	43	平成26年5月27日	<b>第196回評議員会</b> 諮問第1号 平成25年度事業報告及び決算報告の件 → <b>了承</b> 諮問第2号 富山短期大学学則の一部改正の件 → <b>了承</b> 諮問第3号 富山国際大学付属高等学校学則の一部改正の件 → <b>了承</b> 議案第1号 監事選出に同意の件 → <b>議決</b>
		42	平成27年3月25日	<b>第197回評議員会</b> 諮問第1号 平成26年度資金収支補正予算案及び消費収支補正予算案に関する件 → <b>了承</b> 諮問第2号 平成27年度事業計画案並びに資金収支予算案及び事業活動収支予算案に関する件 → <b>了承</b> 諮問第3号 富山国際大学学則の一部改正の件 → <b>了承</b> 諮問第4号 富山短期大学学則の一部改正の件 → <b>了承</b> 議案第1号 法人職員のうちから評議員選任の件 → <b>議決</b> 議案第2号 評議員のうちから理事選任の件 → <b>議決</b>

### Ⅲ 主な事業の目的・計画および実績

#### 学園

##### 新駅（願海寺）設置に向けた取り組みの強化

富山国際学園は、「永年の悲願」である呉羽キャンパスがある願海寺地区への新駅設置の運動を、地域の皆様と協力しながら行っております。

願海寺地区に新駅が設置されることで通学通勤の利便性の向上、本学園及び地域のさらなる発展に繋がることから、新駅の利用見込を把握するために平成 26 年 6 月にアンケート調査を実施しました。その結果、46%の学生、教職員が利用すると見込まれました。また、平成 26 年 11 月、12 月に新駅（願海寺）設置期成同盟会とともに、富山県、富山県議会、富山市、富山市議会、あいの風とやま鉄道に「並行在来線の新駅設置についての要望」を行いました。

#### 富山国際大学

##### (1) 平成 26 年度学生募集活動及び平成 27 年度入学者数

定員確保が経営改善の最重点課題であります。平成 26 年度は、初めて海外協定校を対象とした秋季入試を実施し、大連海洋大学から 2 名が 3 年次編入で秋季入学しました。

また、平成 26 年度からスタートした公務員試験対策講座 P A P の実施状況、就職実績、教員採用試験の実績などを訴えて「なりたい自分」になれる大学の P R に努めました。

その結果、現代社会学部定員 120 名に対し 116 名入学、子ども育成学部定員 80 名に対し 94 名入学と、入学定員 200 名に対して 210 名の入学となりました。学部としては、現代社会学部が 4 名の定員割れとなったものの、日本人学生は増加しており外国人留学生の減少が響いた形です。

今後も、プロバスケットボールの富山グラウジーズの協賛や新聞・テレビ・ラジオなどでの中長期での広報活動と受験生に対する短期広報活動を展開し、増加傾向にある志願者の更なる上積みにつなげていきます。北陸新幹線開業によって人の行き来が活発化されることが見込まれる長野県に対しても、中長期的なアプローチを仕掛けていき志願者の確保に努めていきます。

大学全体の定員充足率〔在籍学生数/収容定員〕は 95%と昨年度の 91%より増加しましたが、定員充足は出来ませんでした。継続的な学生募集活動により早期に定員充足出来るように努力してまいります。

##### (2) 重点目標・活動計画を中心とした取り組み

###### ①アクション・プランの実行

平成 26 年度から 3 年間で計画期間とするアクション・プランを策定しました。学生の成長を保証する教育の実践、充実した学生生活の支援、「なりたい自分」になれるためのキャリア支援・就職支援の強化、国際化に対応できる人材の育成、地域との連携による教育活動、ブランド力の強化、大学の教学マネジメントの確立、などの基本目標に基づく約 50 項目のアクション・プランと約 150 項目に及ぶ具体的な実行計画から成っています。アクション・プランに基づき平成 26 年度に取り組んだ主な実績は別表 1 のとおりです。

###### ②授業の改革

平成 24・25 年度に続き、平成 26 年度も文部科学省が公募した「私立大学教育研究活性化設備整備事業補助金」に採択され、アクティブラーニングに全学的に取り組みました。平成 26 年度は、書画カメラなどの視聴覚ツール、積木やハイレゾリューションオーディオシステムなどの導入によるリアルな保育室の再現、上下昇降デスクや電子黒板の導入によるゼミ室の充実に取り組みました。整備された設備による教育の活性化に引き続き取り組んでいきます。

また、平成 24 年度に採択された「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」が平成 26 年度をもって終了しました。この事業は中部圏の地域・産業界との連携を通じた教育改革力の強化を目指すもので①アクティブラーニングを活用した教育力の強化②地域・産業界との連携力の強化に取り組みました。今後もアクティブラーニング活用の教育や、産業界・地域社会との連携の強化、本事業で培われた他大学との連携強化に努めます。

## ②施設・設備整備

### (i) 中型バスの更新

50周年記念寄付金を活用し中型バスの更新をしました。東黒牧キャンパスでは、平成25年度から東黒牧キャンパスと地鉄月岡駅間で登下校時に4便のシャトルバスを運行しています。平成26年度は、新しいバスということもあり、年間を通した延べ利用者が5,441名（前年度比1,454名増）でした。今後も、学生の交通の便の確保と利便性の向上に努めます。

### (ii) 校舎の環境整備

平成27年度で開設より25年が経つこととなります。経年劣化による校舎のひび割れ等が目立つようになってきており、屋上も漏水などの可能性があります。そのため、平成25年度より計画的に屋上防水工事を行い、平成26年度は3号館と体育館北を行いました。また、空調なども開設当初に整備したものが未だ多くあり、予定外の修繕が増えました。今後も順次計画的に工事を行っていく予定です。

### (iii) 公用車の更新

県内外の高校訪問・企業訪問等に利用していた公用車も20万キロを超えて走行し、危険であったため、新規購入しました。また、構内の環境整備等に利用していた軽トラックも、製造後20年以上経過していたため、更新しました。

## ③教育研究活動

**外部獲得資金状況 【総計】 31件 39,968千円（別表2参照）**

### (3) 地域との連携

富山駅前 CiC ビル 3階富山国際学園サテライト・オフィス「地域交流センター」では地域の諸機関との連携、一般市民と本学との参加型イベント、公開講座、学生のボランティアサークル活動など年間を通し、学園と地域との交流拠点として従来より運営されています。平成24年度からはエクステンション・カレッジも発足し、より地域への知的財産の還元として、公開講座の充実や、広く市民に開かれた知的交流の場となるようにアカデミック・カフェを開設しています。

利用者数は平成25年度と比較すると、エクステンション・カレッジ受講者数は151人から237人、プレビュー講座で140人から163人と微増でしたが、サテライト・オフィスの使用状況としては3,361人から2,847人（いずれも延べ数）で大幅な減少傾向にあります。

今後は、地域に根ざした大学として社会のニーズに対応した講座を開設するなど、より一層の利用者の増加に努めていきます。

### (4) 就職状況

就職率は、現代社会学部96.3%、子ども育成学部100%で両学部合わせて98.1%の高い数字となっています。

現代社会学部では、1年次からキャリア支援を行っており、就職先も上場企業、銀行を含む金融機関などに多数就職しました。平成26年度からは公務員試験対策講座PAPコースを開設し、34名の受講者がありました。今後は、公務員試験合格者の増加にも力を入れるなど、一層の就職先の充実に力を入れていきます。

子ども育成学部では1期生・2期生に続き、多くの専門職に就くことができました。また、国立の大学院への進学者も出すことができます。今後も地域の期待に応えるべく指導していきます。

### (5) 課外活動

両キャンパスに運動系・文化系のクラブがあり、運動系のクラブでは、競技力向上を目標に心・技・体を育成し、各種大会で優勝を目指しています。文化系のクラブでは、豊かな感性を高めると共に、大会、展示会で高い成果を目指して活動しています。

平成26年度の実績としては、ボート部女子が全日本軽量級選手権大会、全日本大学選手権大会、全日本選手権大会の3冠を果たしました。また、子ども育成学部の学生が2014越中おわら節全国大会、北日本民謡民舞富山県大会において優勝を果たしました。

クラブ活動以外にも、第58回にもなる富山県青年議会において子ども育成学部の学生が議場で一般質問の場に立つなど、多くの分野で活躍しています。

## (6) 各学部の状況

### 現代社会学部

・平成26年度は以下のことに重点を置きながら学部の改革を進めてきました。

①**入学定員の確保**…教育・就職の質の向上に努めるとともに、その成果をオープンキャンパス、教員による高校訪問、学部長による校長訪問などによってPRしました。

②**教育の質の向上**…FD研修や互見授業などを積極的に実施しました。

③**就職の質の向上**…公務員試験対策PAPを実施（受講者34名）しました。

④**休退学者の減少**…個別指導の徹底や保護者との緊密な連携、教員間の情報共有の徹底をしました。

⑤**地域連携・交流活動の推進**…授業や専攻実習、課外活動において地域と積極的に連携をしました。

⑥**国際交流活動の推進**…海外インターンシップ（中国・南通2名、大連1名、タイ1名）

インターナショナルプログラムズ：長期（中国2名、韓国1名）短期（オーストラリア2名）

異文化研修（中国7名、韓国3名）国際交流実習（タイ8名）の参加者数となりました。

また、チューター制度も継続的に実施し、学内においても外国人留学生との交流が活発に行われました。

### 子ども育成学部

・小学校教員採用試験5名合格、社会福祉士国家試験12名合格

子ども育成学部は3期生を送り出しました。1期生・2期生に負けず劣らずの成果を出しました。富山県の教員採用試験2次試験では5名（前年度5名）が合格。また、社会福祉士国家試験では12名（前年度12名）が合格し、合格率では全国の私大で2位（前年度9位）、北陸3県の私大では1位（前年度1位）の好結果をあげることができました。「教育と福祉のハイブリッド」を掲げる学部として今後もこれ以上の結果を求めるとともに、卒業生が地域や子ども育成の現場で地域の高い評価を得られ続けられるようフォローしていきます。

## 富山短期大学

### (1) 平成26年度学生募集活動及び平成27年度入学者数

学生募集は、高校訪問、進学相談会・高校内説明会等、高校教員や高校生に直接接することのできる広報に加え、『未来の富短生に「富山短期大学」を意識付けする。』ことをコンセプトに富山地鉄バスのラッピング広告への参画等により、富短（トミタン）キャラクターの県内外へのPRを強化することに努めました。

平成27年度入試においては、一般入試の出願者は減少したものの、推薦入試及びセンター入試での志願者が大幅に増加し、出願者総数は、短大全体で前年度対比43%の増加となりました。

平成26年度入学の定員充足率は94.8%と入学定員を下回る結果となりましたが、平成27年度入学の定員充足率は112.2%となり、新規取組みを含めた学生募集活動の効果があったものと思われます。

来年度の学生募集に際しては、更なる広告掲出媒体や広報戦略の見直し等を検討し、志願者確保に努めていきます。

### (2) 重点目標・活動計画を中心とした取組み

#### ①アクション・プランの策定

平成27年度から3年間を計画期間とするアクション・プランを策定しました。教育活動から学生生活支援、地域貢献、入試広報、大学運営にいたる分野までの約150項目のアクション・プランと具体的な行動計画から成っています。今後、改革・改善計画を学内外に明確に示し、年度毎に達成状況を検証しながら、不断の改革・改善に取り組むこととしています。

#### ②授業の改革

文部科学省が公募した「大学教育再生加速プログラム（AP）」に本学が提案した「学修成果評価システム」の構築によるPDCAサイクルのシステム化」が採択されました。取組期間は5年間で、平成26年度は、「学修成果評価システム」の構築、Webシラバスシステムの機能拡充等を行い、第三者評価をPDCAサイクルに反映させる仕組みを整えました。また、今後は全学FD推進部会を中心とする、教職員協働による教育改善・改革の機動的な推進体制も強化していきます。

### ③入学定員の変更

近年の入学志願者の動向及び入学定員充足率から鑑みて、平成 28 年度入試では、経営情報学科の入学定員を 100 名から 10 名増の 110 名、福祉学科は 70 名から 10 名減の 60 名とすることとしました。

### ③第三者評価の受審

平成 26 年に、認証評価機関である一般財団法人短期大学基準協会の第三者評価(書面審査及び現地訪問審査)を受審し、平成 27 年 3 月 12 日をもって、「教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、短期大学基準協会が定める短期大学評価基準を充たしている」と判断され、適格と認定されました。

総評では、「Web シラバスによって、学生の個別指導について、一層きめ細かく対応が可能となった。」、「卒業生の就職先から広く意見を聴取し、各学科で集計・分析して、教育課程や教育内容・方法の改善に役立てるよう取り組んでいる。」、「ボランティア活動に熱心に取り組んだ学生を対象に、毎年表彰するなど、学生の意識高揚に意欲的である。」など、高く評価されました。

### ④施設・設備整備

文部科学省が公募した「私立大学教育研究活性化設備整備事業」に本学が提案した事業が 3 年連続で採択されました。本事業は、「協働・出会い・自立・共生」の促進をテーマに、学生たちの協働学習とその成果の可視化・共有化に焦点をあて、アクティブ・ラーニング環境の整備による学習効果の向上を図ることを目的としています。平成 26 年度は、様々なパフォーマンスの発表に利用できるプレゼンテーション専用スタジオの整備、学生の実習動作を可視化(投影・録画・再生)できるトレーニング(実習)スタジオの整備、複数の成果を同時発表・比較することができる最大 60 人規模のコラボ(協働)スタジオの整備をし、学習効果の向上を図りました。

総工費 30,456,000 円

### ⑤現有校舎の環境整備

既存校舎の環境整備のため、外壁タイルの補修や空調設備の更新等を行い、新校舎以外でも、学生が快適に学習に望めるよう整備しました。

福祉棟実習室ファンコイル入替	1,371,600 円
福祉棟冷温水配管洗浄修繕	1,620,000 円
福祉棟ファンコイルユニット洗浄配管工事	1,836,000 円

### ⑥教育研究活動

外部獲得資金状況 【総計】15 件 41,272 千円(別表 2 参照)

## (3) 就職状況

短大は在学期間が 2 年間と短いため、1 年次から進路ガイダンスを実施するなど、学生が将来に向けたキャリアプランニングを考えられるように支援しています。また、外部講師による就職関連講座や公務員対策講座の実施など、就職支援センターが中心となって、学生の満足度の高い就職支援に尽力しています。その結果、平成 27 年 3 月末時点で、4 学科及び専攻科の就職率は 100%の就職率となっています。専門職への就職率は、食物栄養学科 84.7%、幼児教育学科 96.5%、福祉学科 100%となっています。経営情報学科を中心とした一般職への就職も、金融機関や地元の優良企業への就職者が多数見受けられ、本学卒業生の質の高さを社会が認めてくれているものと思われます。また、卒業時に未就職であった学生に対しても、卒業後も引き続き支援を続けることとしています。

## (4) 各学科の状況

### 食物栄養学科

#### ①栄養士等の資格取得

平成 26 年度卒業生 88 名全員が、栄養士の資格を取得しました。栄養教諭二種取得者数は、13 名でした。フードスペシャリストについては、26 名が試験に合格し資格を得ることができました。本年度から新しくフードスペシャリストの上級資格である専門フードスペシャリストという資格が創設され、3 名が合格しました。NR・サプリメントアドバイザーには、2 名合格しております。

#### ②栄養士実力認定試験等

全国栄養士養成施設協会が実施している栄養士実力認定試験では、全国の短大平均得点が 34.4 点であったのに比べて、本学は 39.3 点であり、本年度も全国平均を上回る結果を得ました。

### ③就職動向

平成26年度の卒業生の就職決定率は、100%でした。卒業生88名中、就職85名、管理栄養士養成コース4年制大学への編入学1名、家事2名でした。栄養士職又は栄養士に準ずる職業に就いた卒業生は72名であり、多くの卒業生が栄養士の資格を活かした分野に就職しました。

### ④魅力ある教育への改革

平成26年度から学生主体でお菓子作りを学び、情報発信をしていくサークル活動を学科として開始しました。平成26年8月に魚津市で開催された第28回全日本大学女子野球選手権大会の前夜祭にて、「富山の魅力」をPRするためにオリジナルスイーツ赤米アイスクリーム&スイカシャーベット～昆布スティックを添えて～を製作して500食分を提供しました。この活動は大変話題となり、北日本新聞などに大きく取りあげられました。お菓子作りも学べることを、高校生にPRしていきます。

平成27年度からは、実務経験を経て、管理栄養士の資格取得を目指す学生および卒業生をサポートするプログラムを開始し、将来に向けての選択肢の広さを魅力の一つとしてPRしていきます。

## 幼児教育学科

### ①保育者養成

平成26年度卒業生88名（9月卒業1名含む）の内、幼稚園教諭二種免許状取得85名、保育士資格取得88名であり、就職決定率は100%（就職希望者86名）となりました。

就職先は、幼稚園8名、幼保連携型認定こども園8名、保育所64名及び福祉施設3名など専門職就職率96.5%であり、公務員採用試験（保育士）には15名が合格し、就職しました。

### ②学科共同研究

「保育者養成教育における感性と表現－教員の協働による総合的授業の実践－」

（富山第一銀行奨学財団助成研究）

「アナログ・コンテンツを利用したアクティブ・ラーニングの推進」

（学長裁量経費：特別教育研究）

### ③第42回幼児教育研究会

県内外の幼稚園・保育所等の関係者と保育者養成校の教員、学生が一堂に会し、研究と実践を交流・推進する場としての幼児教育研究会を開催しました。

日時：平成26年6月21日（土）

研究主題：「保育内容を見つめ直す－子育て支援と保育内容－」、参加者：360名

## 経営情報学科

### ①就職動向

平成26年度卒業生の就職決定率は、100%でした。特に県内の金融機関に13名就職しました。4年制大学への編入学者も5名でした。また、富山県中小企業団体中央会との各種連携事業も、昨年度に引き続き実施しました。

### ②インターンシップ

平成26年度のインターンシップ参加者は83名で、1年生全体の84%でした。

年末には、インターンシップへの先進的な取組を行っている大学として、私学振興・共済事業団私学情報室の訪問調査を受けました。

### ③資格取得

平成26年度卒業生の検定資格取得率は大幅に上昇して、例えば日商PC検定（文書作成）3級100%、日商簿記検定3級60%という結果でした。上級資格の取得率も上昇し、日商簿記検定1級も初めて取得しました。

### ④授業改革

平成26・27年度に整備したグループワーク専用ルームを活用して、多彩なアクティブ・ラーニングを導入しており、「教え合い、学び合う」学習効果が高まっています。

また、Webシラバス・システムの改善により、毎回の授業アンケート結果を、教員のみならず学生も一覧できるようになったことから、授業の振り返りを促し、授業に対する興味・関心を高めるのに役立っています。



## 福祉学科

### ①カリキュラムの見直し

当初、27年度入学生から国家試験の導入が予定されていたこと(結果的に延期)に加え、脳血管疾患などによる要介護状態の人への医療行為が介護福祉士に求められるようになったことでの「医療的ケア」科目の導入のため、カリキュラムの見直しを行いました。また、新たに加わった「医療的ケア」の授業時間を確保するため、学外での介護実習の時間数を正規の450時間に改める措置も取っています。

### ②四年制大学への編入学指導

6人の編入学希望者のうち、5名が富山国際大学子ども育成学部合格し、残る1名は金城大学合格しました。6人のうち5人は、社会福祉士の受験資格取得を目指しており、4年間という最短期間で、福祉の国家資格2つの取得が可能になります。1名は、教員免許の取得を目指しています。

### ③検討会の設置

近年、入学者が減少し、今後も18才人口の減少等により入学者数は更に厳しくなると予想されることから、今後の福祉学科のあり方について、学長、副学長、福祉学科長等から構成される検討会を設置し検討してまいりました。その結果、教育課程を再編成し、入学定員を10名減とすることとしました。

### ④地域社会への貢献

平成19年度に学生支援GPに採択されたのを機に開始した、いわゆる「GP活動」は7年目を迎えました。1・2年生全員が5つの活動グループに分かれて所属し、自主的に活動計画を立案して、地域の福祉施設等でハンドマッサージや健康体操、伝承遊びでの交流活動などに取り組んでいます。また、1年生は富山県障害者スポーツ大会の陸上競技会に全員が補助スタッフとして、毎年参加をしています。1年女子の有志が参加した魚津市の中山間地での牧柵作りボランティアは、新聞で大きく取り上げられました。

その他、富山県からの補助事業の一環として、高校や中学への出前講座、県民や専門職を対象とした福祉・介護フォーラムなども開催しています。

## 専攻科食物栄養専攻

### ①学位取得

専攻科の学位授与方針(ディプロマポリシー)として、学士(栄養学)の取得があり、毎年学位取得率100%を目指して、各指導教員がマンツーマンで学生の研究指導に当たっており、平成26年度も修了生16全員(既取得者1名を含む)が学位を取得しました(学位取得率100%)。

### ②管理栄養士国家試験合格

専攻科のもう一つのディプロマポリシーに管理栄養士の育成があり、管理栄養士国家試験に合格して管理栄養士になることを教育目標としています。管理栄養士国家試験合格は、通常の授業に加えて、特別講義、特訓講座、本学独自の管理栄養士国家試験対策講座で対応しており、平成26年度では、昨年度とは異なり、残念ながら合格率100%とはいきませんでした。受験者15名のうち14名が合格し、合格率は93.3%と、全国平均を上回ることができました。

### ③就職

本科では、上記の2項目に加えて、社会のニーズにこたえられる実践力をもった管理栄養士の養成に力を入れています。実践力は、様々な実習・演習・研修などの体験により養っており、その効果もあり、専攻科開設以来、就職率は100%を毎年維持しています。

## 富山国際大学附属高等学校

### (1)平成26年度生徒募集活動及び平成27年度入学者数

前年度に引き続きICT授業の公開研究会(2回実施)、テレビコマーシャル、オープンキャンパスを取り入れ、本校のアピール・関心を深めて貰うことに努めました。

また、各中学校で開催される説明会で、本校の特徴であるICT教育、国際交流、ユネスコ活動やスクールバスについて直接生徒や保護者に理解を得られるよう解りやすい工夫等で熱心に説明を行いました。

平成27年度の入学定員250名に対し、入学者291名、入学定員充足率〔在籍学生数/収容定員〕は116%となりました。

平成 24 年、25 年度の 2 年間に渡り、入学定員の 20%超過が続き、経常費補助金の減額交付となりましたが、これを機会に平成 26 年度の入試から、合格基準点を上げ、入学者を厳選し、適正な入学者数を確保しています。

## (2) 重点目標・活動計画を中心とした取組み

### ① 施設・設備整備

#### (i) 事務室用コンピュータ更新整備

781,704 円

事務室(事務職員用 5 台)のコンピュータが整備され、ネットワークのユーザアカウントやセキュリティ等、コンプライアンスを守ることができるようになりました。

#### (ii) 教員用コンピュータ増強

361,800 円：機器備品費

平成 26 年度国庫補助事業で整備しましたが、使用者の人員増、使用範囲・教育内容の拡大で、メモリ、HDD 等を増設しました。

#### (iii) グラウンドのメンテナンス【継続】

1,820,000 円：修繕費

グラウンド造成後、これまでメンテナンスが殆ど行われていないこと、子ども育成棟建設時に資材置き場として使用されたことから、グラウンド状態が悪化していたため、部分的に整備しました。

#### (iv) 理科教育設備

3,163,158 円(国補助：1,581,000 円)

理科科目の授業用機器備品を整備しました。

#### (v) 光彩館 3 階ホールの老朽化、使用頻度が高い、生徒増に伴う改修【継続】

1,589,004 円：建物支出

昨年度のデスクの整備に続いて、今年度はベンチの増設、壁紙(クロス)の部分補修、暗幕、ステージ床等の補修を行い、2 ヶ年の整備を完了しました。

#### (vi) 光彩館無線 LAN 整備

1,144,000 円

26 年度から 1~2 年生全員の iPad 授業が導入されことになり、使用範囲も拡大するため光彩館ホールを整備しました。

#### (vii) テニスコート北側フェンス増設工事

2,894,400 円

テニスコート周辺の私有地にテニスボールが入ることで、これまで幾度か地主から苦情が寄せられてきたことに対応しました。

### ② 教育研究活動

#### (i) ICT (Information Communication Technology) 教育の推進

平成 25 年度に 1 学年国際英語コース全員が iPad を購入し、パイロットモデルクラスとしてタブレット端末を使った ICT 教育の可能性、効果を研究してきました。次年度は新入生全生徒が同様に iPad を購入し、授業をはじめ学校生活のあらゆる場面で ICT を利用する教育体制を構築してきました。平成 26 年度は全国規模の ICT 公開授業研究会を 2 度開催し、県内外から多くの教職員、研究者、企業が見学し、高い評価を得ました。現在、全校生徒の 2/3 が iPad を使って授業を受けており、来年度には生徒全員が iPad を持つ ICT 教育推進校となります。本校の ICT 教育は多方面から注目を集めており、今後も公開授業やオープンキャンパスで全国に教育的特色を発信し、教育の質の向上と入学者の確保に努めていきます。

#### (ii) 国際交流活動の推進と学校のグローバル化

平成 26 年度に新たに中国の潞河中学(ルーハー高校)と姉妹校提携を結んだ結果、海外姉妹校は 3 校、協力提携校は 4 校となりました。こうした学校との交流活動は、相手校を訪問するばかりでなく相手校からの生徒の受け入れ数も増えることでホストファミリーの体験家庭も著しく増加しており、学校ばかりでなく生徒の家庭のグローバル化も徐々に進んでいます。

本校は、数年前から日本語のできない外国籍生徒に対し、英語のペーパーテストと面接による特別入試を実施しています。また、こうした生徒に対する特別カリキュラムが整っていることもあり、外国籍生徒

や日本国籍でも日本語が不自由な入学生も少なくありません。こうした生徒の存在は、学校全体のグローバル化に大きく貢献しています。

このネットワークを活用し、今後は生徒による主体的なプロジェクトを展開し、姉妹校・協力校との協働研究を実施する中で、本校生徒のグローバル・リーダーとしての資質をさらに育てる計画を進めています。**(主な国際交流の状況は別表 3 参照)**

### (iii) 課外活動

運動部ではテニス部男女、バドミントン部、柔道部、弓道部が、文化部では放送部、新聞部、英語部が全国大会出場を果たし、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し、それぞれが優秀な成績を収めています。

また、平成 26 年度惜しくも全国大会出場を逃した部にあっても、今後の活躍が期待できる部活動が多くあります。

どの部活動も今年度はさらに実力をつけ、各大会、全国大会の上位を目指し毎日活発に活動に励んでいます。**(主な課外活動の結果は別表 4 参照)**

## ③進路状況

地元の富山大学や県立大学をはじめとする国公立大学に 11 名の合格、早稲田、上智大学をはじめとする私立大学に 153 名の合格者を出しました。就職希望者 57 名中 56 名が就職しました。

また、併設校への進学実績は、富山国際大学に 20 名の合格で 14 名の進学、富山短期大学へは 38 名の合格で 34 名の進学となりました。

## 富山短期大学附属みどり野幼稚園

### (1) 平成 26 年度園児募集活動及び平成 27 年度入園者数

県内の幼稚園児数の減少や幼稚園の廃園が進む中で、本園の保育内容や園庭の自然環境への評価が高く、保護者の口コミを通して富山市の中心部や婦中町より園児が集まっています。

平成 27 年度は、年少児の入園希望数が増え、年少児の受け入れ数は 36 名となりました。前年度より若干園児数は減少しましたが、定員充足率は 1.20 (前年度 1.25) とほぼ前年度並みの園児数を確保しました。

### (2) 重点目標・活動計画及び取組み

#### ①保育内容の充実

園内の自然環境、保育内容について、県内の保育関係者の視察、見学も何件もあり本園の保育への関心が高まっています。

平成 26 年度には、身体を十分に使い、子ども自ら主体的に学ぶことを大切にするため、園庭や呉羽山の里山を活用し、自然の中での体験活動を多く行いました。

#### ②子育ての支援・保護者との連携

未就園児親子クラブ等で、幼児教育学科や子ども育成学部の協力を得ながら未就園児の子育て支援を充実させるとともに、保護者の就労や緊急な用事の場合の預かり保育の充実などを行ってきました。

家庭と園が一体となって子どもの健やかな育ちをめざし、保護者会の活動や父親の会の活動を進めています。特に 10 年前に県内幼稚園では最初に作られた「父親の会」の活動もますます活発となり、父親が積極的に園の行事等に参加したり、園庭の整備や遊び大会の企画などを行っています。

保護者が中心となって幼児サッカーの指導を行っており、26 年度の富山県幼児ソフトサッカー大会では優勝し、他の大会でも優秀な成績を残しています。

#### ③研究・研修

各保育者が保育の質を高めるため、日々の研究・研修を大切にしています。平成 26 年度は、園の保育のあり方について、園の保育の考え方等をまとめ、「みどり野幼稚園ってどんなところ？」という小冊子を作成しました。

今年度は、3 歳から 5 歳までの「子どもの心の発達過程」について、実践を通して研究をすすめています。

#### ④付属園としての実習受け入れ・大学短大との連携

富山国際大学子ども育成学部 1 年生 (30 名)、富山短期大学幼児教育学科 1 年生 (110 名) の実習を本園で行いました。いずれの学生とも現場での初めての实習であり、幼稚園教育要領に基づいた保育を学ぶと同時に、

子どものすばらしさ、保育の楽しさを実感できるよう指導しました。

子ども育成学部、幼児教育学科の研究協力や教職実践演習等の授業への協力も本園教諭が行っています。

#### ⑤施設設備

日々の保育において、安全に目を配ると同時に、応急的に対応できる部分についてはしっかりと対策を講じました。また、園児数に対応できていない施設設備（保育室、トイレ等の数）については、工夫しながら対応しました。

子ども子育て支援法の成立により、給付等の制度の変更が今後の幼稚園のあり方に大きな影響を与えること見据え、平成26年度に子ども育成学部、幼児教育学科とも連携しつつ「みどり野幼稚園将来構想検討委員会」を設置し、今後のあり方について検討しました。

## アクション・プランによる主な取組み（平成26年度実績）

（1）学長裁量経費の設置・9件の採択…教育・研究経費の重点的・効果的配分を行う事を目的に学長裁量経費を設置し、教育研究課題の募集を行いました。教育研究の課題及び内容は次のとおりです。

課題名	内容
「子ども育成学」の構築のための基礎的共同研究	子ども育成学部の教育・研究の根幹である「子ども育成学」の構築をめざす基礎的研究を行う。次に挙げる3つの実践的かつ理論的な研究を通じ、「子ども育成学」の基礎の構築に資する。(1) 子ども育成の理論中核科目について冊子の作成(2) 専任教員全員による(仮)「子ども育成学のすすめ」の作成(3)「子ども育成学」の原理についての研究
芸大型「Creative and Practical Learning」の実践～Active Learningを超え、Creative and Practical Learningへ～	(1) 後期授業「経済の基礎」もしくは「証券ビジネス論」における実践を想定(2) 段階的教授法による「エコノミスト分析」なる「作品」を仕上げる。①：マクロ経済(国民所得、失業率、物価、為替、金利等)の分析・調査・予測②：①に基づく富山の産業分析(素材産業、機械産業等)③：①に基づく地域社会に対する提言
世界遺産五箇山における参与観察手法による「外部との連携システム」を研究するための教育実践	①参与観察手法(住民の一員として実際の作業に加わりかつ客観的視点で観察する)を通して「外部との連携」の実践内容を把握し、課題について学生に考えさせることを目的とする教育実践である。②また、富山国際大学だけでなく、他大学の学生とのディスカッション等を行い、富山国際大学の学生の視野を広げるための実践でもある。
韓国留学経験者、留学希望者による韓国事情・韓国語会話サロンの開設	本学の韓国語留学経験者、留学希望者、異文化研修(韓国)参加学生、韓国の協定校からの交換留学生、そして現在富山に居住している元交換留学生が一堂に会し、韓国について、また韓国語学習について気軽に質疑応答できる集い(サロン)を創設する。体制が整えば、韓国事情・韓国語に関心がある一般の方の参加も歓迎する。
居住環境における室内空気中浮遊細菌の実態および大学生の健康との関連に関する研究	室内浮遊細菌による汚染実態を把握するために、大学生が居住する富山県の一般家庭20-30戸において、室内および屋外の空気中の浮遊細菌を夏季と冬季の年2回採取し、一般細菌と真菌による汚染状況の実態を把握する。さらに、試料採取と同時に気温などの基礎データや換気状況や滞在時間、清掃状況などについてアンケート調査を同時に実施する。これにより、居住環境や住人のライフスタイルと室内浮遊細菌の関連や発生源を予測する。また、本人に結果をフィードバックすることにより、居住環境の改善に役立ててもらおう。
女性教職員のポジティブ・アクションの取組に向けた調査研究	複数年度に亘る計画。初年度は現状調査を中心に、以下の活動について計画する。①事例研究・調査：女性管理職を積極的に登用している事業所や大学の先進的事例を調査し、導入のための参考情報を入手して、本学での導入の可能性について検討する。②研究会の開催：本学での教職員の現状、課題、調査により得られた情報を基に、分析や意見交換会及び講師を招いた勉強会を開催し、ポジティブ・アクションのための活動について検討する。(6月～5回程度開催)
富山国際大学遠隔授業システムの本格的取組への実践上の問題点と対策について	現在東黒牧キャンパスとCiCサテライトオフィス「地域交流センター」間には遠隔授業システムが構築されている。2年間稼働せず休眠状態になっているシステムを有効活用するため、先進校視察などを行い、今後の実施方法を検討する。
Tuins(東黒牧キャンパス)クリスマス・イルミネーション・ファンタジー	【イメージコンセプト】冬の大学祭「東黒牧イルミネーションガーデン」 12月中旬の土曜日に東黒牧キャンパスの芝生広場をメイン会場とし、物見塔や杉木のライトアップ、ロウソクなどの淡い光による幻想的なキャンパスの雰囲気づくり、留学生等による料理の振る舞い、学生中心の聖歌隊を結成してのアカペラ披露などを行う。推薦入試合格者に対する入学前指導来校の特典としてイベント参加や食券をサービスするほか富山国際学院の学生も呼び込み国際交流を図る。

課題名	内容
「とやま教科書」を用いた「とやま愛」創造プロジェクト	富山市との連携協定のもと、富山市に焦点を当て、「歴史・文化・特色ある食事」など多角的な視野で富山市の魅力を掘り起こす。そしてその成果を小学生にもわかるような 1 冊の教科書にまとめ、本学の教員や学生が富山市内の小学生に授業の 1 コマとして訪問授業をし、富山愛を育む事業。

**(2) IC カード付学生証の導入**…これまでのパウチの学生証から IC カード付学生証に変更しました。今後は、印刷管理システムや証明書の発行など、学生サービスにつながるよう仕組みづくりを検討していきます。

**(3) クリスマス・イルミネーション事業の実施**…クリスマス・イルミネーション事業を実施し、12月から2月上旬まで東黒牧キャンパスを幻想的な空間にしました。

**(4) FD・互見授業の積極的な実施**…授業改革に役立つように、両学部において互見授業を積極的に行いました。26年度末には全学 FD を開催しました。

**(5) 海外協定校を対象とした秋季入試の実施**…優秀な学生の確保のため、初めて海外協定校を対象とした秋季入試を実施しました。その結果、大連海洋大学より2名が3年次編入で秋季入学しました。

**(6) SCHOOL アプリの導入**…広報対策の強化の一環として、高校生の使用が高まっているスマートフォンをターゲットとした SCHOOL アプリを導入しました。今後は、追跡調査を実施しながら、ダウンロードの促進に努めます。

**(7) 公務員試験対策講座 PAP の開講**…東黒牧キャンパスにおいて公務員試験対策講座 PAP を開講しました。初年度の受講者は34名でした。今後は、講座の案内周知による受講者の増加に努めると共に、公務員試験の合格者の輩出につながるよう内容の充実に努めていきます。

## 富山国際大学

<b>国庫補助金(競争的補助金)</b>	<b>2件</b>	<b>23,718千円</b>
産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業		9,800千円
平成26年度私立大学教育研究活性化設備整備費補助金		13,918千円
<b>科学研究費助成事業等</b>	<b>11件</b>	<b>8,500千円</b>
琉球の近世計画村落形成に伝統的祭祀施設と村抱護が果たした役割と意味に関する研究		
介護者のケアマネジメントにおけるアセスメントツールの開発		
スクールソーシャルワーカーの学校現場への定着に向けた総合支援カルテの開発		
「教育」概念によって統合された法制度の形成過程についての歴史的研究		
有明工業高等専門学校【分担金】		
神戸芸術工科大学【分担金】		
横浜国立大学【分担金】		
愛知県立大学【分担金】		
東京大学【分担金】		
南山大学【分担金】		
京都大学【分担金】		
<b>富山県ひとつくり財団</b>	<b>7件</b>	<b>3,323千円</b>
富山国際大学現代社会学部公開シンポジウム		
富山国際大学子ども育成学部第6回公開セミナー		
富山国際大学第6回子ども育成フォーラム		
再生可能エネルギーを核とした限界集落地域の活性化に関する調査		
富山国際大学オープンキャンパス2014		
就職促進事業		
富山国際大学エクステンション・カレッジ特別講演会		
<b>富山第一銀行奨学財団</b>	<b>7件</b>	<b>1,800千円</b>
富山県の観光資源の再評価に関する研究		
室内外における多環芳香族炭化水素およびアルデヒド類濃度と居住環境に関する研究		
富山県中小企業をマクロ・ミクロの視点からみた実証分析		
富山県小学校における「ふるさと教育」の現状と課題		
富山の「草刈り十字軍」運動に関する研究－西洋哲学との比較の観点から－		
「地域社会参加活動」がもたらす教育的効果に関する研究		
市民のニーズをとらえた一般教養講座のあり方に関する研究		
<b>その他</b>	<b>4件</b>	<b>2,627千円</b>
富山県PR事業		
宇奈月温泉住民の理解促進度調査		
たらい型水車の開発		
黒部市における、マイクロ水力を活用したEV利用にかかる調査		

## 富山短期大学

<b>国庫補助金(競争的補助金)</b>	<b>2件</b>	<b>35,052千円</b>
大学教育再生加速プログラム		10,584千円
平成26年度私立大学教育研究活性化設備整備費補助金		24,468千円
<b>科学研究費助成事業等</b>	<b>2件</b>	<b>2,600千円</b>
新しい動脈硬化指標CAVIを用いた生活習慣病予防のための脂質摂取に関する研究		
学生着席モデルを用いた講義室空間改善へのアプローチ		
<b>富山県ひとつづくり財団</b>	<b>7件</b>	<b>1,118千円</b>
富山短期大学2014公開講座		
経営情報学科公開講座		
専攻科食物栄養専攻 公開特別講演会		
食物栄養学科 学術講演会		
第41回幼児教育研究会		
<b>富山第一銀行奨学財団</b>	<b>3件</b>	<b>500千円</b>
家庭の食習慣と食についての表象の検討		
富山県の干し野菜を使用した若者向けの料理開発		
保育者養成教育における感性と表現－教員の協働による総合的授業の実践－		
<b>その他</b>	<b>2件</b>	<b>2,002千円</b>
富山県PR事業		
障害福祉レベルアップ事業		
とやま福祉人材確保緊急プロジェクト		



## 国際交流状況

富山国際大学附属高等学校

## ◇本校生の海外長期留学派遣状況

	～2000	2001度	2002度	2003度	2004度	2005度	2006度	2007度	2008度	2009度	2010度	2011度	2012度	2013度	2014度	合計
アメリカ	7	11	1	2	9	3	10	7	7	4	5	4	6	5	6	87
カナダ	6	2	1	4	1	3		2		5	5	3	2	5	2	41
イギリス	2	1	1	1	1			1	1						1	9
オーストラリア	8	2	3	2		2						1	2	1		21
ニュージーランド	6													1		7
ドイツ					2									1		3
アイルランド				1									1	1		3
ヴェネズエラ	1															1
韓国						1										1
ハンガリー						1										1
オランダ							1									1
タイランド														1		1
台湾	1															1
スウェーデン										1		1				2
スペイン														1		1
合計	31	16	6	10	13	10	11	10	8	10	10	9	11	16	9	180
1年間	30	13	6	10	13	10	11	10	8	9	10	7	11	14	9	171
半年間～1年間	1											1		1		3
半年以下		3								1		1		1		6

## ◇外国人留学生受入状況

	～2000	2001度	2002度	2003度	2004度	2005度	2006度	2007度	2008度	2009度	2010度	2011度	2012度	2013度	2014度	合計
アメリカ	1	7	1	3	4	3	7	18	14	23	13	2	24	13	14	147
カナダ	2				1			1	1							5
オーストラリア	5	1	1	2	2	2	3	2	1	1	2	1	5	1	17	46
ニュージーランド	67	1	1	1	1	1	11		11	1	14			14		123
オランダ					1	1	1									3
韓国							1				1					2
ドイツ									1				1		2	4
ネパール		5														5
フィンランド											1					1
フィリピン								1								1
コスタリカ														1		1
イタリア															1	1
合計	75	14	3	6	9	7	23	22	28	25	31	3	30	29	34	339
1年間	13	2	3	3	3	2	3	2	2	2	2		3	4	3	47
半年間～1年間	3				1	1					1				2	8
2ヶ月～半年間				3	5	4	7	1	1							21
2ヶ月間未満	59	12					13	19	25	23	28	3	27	25	29	263

## ◇海外の大学進学状況

	～2000	2001度	2002度	2003度	2004度	2005度	2006度	2007度	2008度	2009度	2010度	2011度	2012度	2013度	2014度	合計
	20	5	2	3	2	1	3		1		1		1	1		40

## ◇語学研修状況

	～2000	2001度	2002度	2003度	2004度	2005度	2006度	2007度	2008度	2009度	2010度	2011度	2012度	2013度	2014度	合計
アメリカ	298	19	28	34	23	30	19	24	33	28	25	19	25	30	28	663

## ◇海外研修状況

	～2000	2001度	2002度	2003度	2004度	2005度	2006度	2007度	2008度	2009度	2010度	2011度	2012度	2013度	2014度	合計
ニュージーランド	101		1	17	9	10	9	6	16	11			8			188
シンガポール	20		12	18	25	44	71	46	53	35	48	61	24	112	50	619
韓国	25	19	63	74												181
サイパン							38	22	56	47						163
グアム			22		52	54										128
オーストラリア			32								45	51	69	56	81	334
タイ				23												23
中国					29											29
台湾											50	13	25			88
フィリピン														34		34
イギリス・フランス															35	35
合計	146	19	130	132	115	108	118	74	125	93	143	125	126	202	166	1822

## 平成26年度 部活動大会記録(全国大会等)

富山国際大学附属高等学校

部 名	大会名	種 目	成 績	学年	選手名	摘 要
テ ニ ス	県高校総体	男子団体	優勝			全国高校総体大会出場
		女子団体	優勝			
		男子シングルス	優勝	3	森田健斗	
		女子シングルス	優勝	3	前田友花	
	北信越高校総体	女子団体	3位			
		女子シングルス	2位	3	前田友花	
女子ダブルス		優勝	3	山田緋夏 川上果穂	全国高校総体大会出場	
バドミントン	県高校総体	女子団体	優勝			全国高校総体大会出場
		女子ダブルス	優勝	3	中村幸	
		女子シングルス	優勝	2	山森真凜	
	北信越高校総体	女子団体	優勝	3	中村幸	
サ ッ カ ー	県高校総体	女子	2位			
	全日本高校女子選手権県大会	女子	2位			北信越大会出場
柔 道	県高校総体	男子団体	2位			北信越大会出場
		個人73kg級	優勝	3	谷本竜也	全国大会出場
		個人81kg級	優勝	3	松原誠	
	北信越高校総体	個人81kg級	優勝	3	松原誠	
弓 道	県高校総体	男子団体	2位			北信越大会出場
		男子個人	優勝	3	五十嵐弘大	全国大会出場
	北信越高校総体	男子団体	2位			
放 送	県NHK放送コンテスト	ラジオドキュメント	優秀賞			NHK全国高校放送コンテスト出場
		研究発表	優秀賞			
新 聞	全国高校総合文化祭	年間紙面審査	優秀賞			
英 語	県高校生英語ディベート	団体	優勝			全国大会出場
車椅子バスケット ボール	北九州チャンピオンズカップ		優勝	3	岩井孝義	

# IV 決算及び財務状況

## 1. 資金収支計算書

### 資金収支計算書

平成26年 4月 1日から  
平成27年 3月31日まで

(単位 千円)

収入の部				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	
学生生徒等納付金収入	1,870,909	1,857,538	13,371	
手数料収入	35,726	39,290	△ 3,564	
寄付金収入	18,938	18,786	152	
補助金収入	693,334	664,463	28,871	
国庫補助金収入	416,634	367,455	49,179	
地方公共団体補助金収入	256,422	276,333	△ 19,911	
その他補助金収入	20,278	20,675	△ 397	
資産運用収入	15,464	11,211	4,253	
資産売却収入	1	0	1	
事業収入	76,652	87,838	△ 11,186	
雑収入	193,662	199,228	△ 5,566	
借入金等収入	0	0	0	
前受金収入	465,991	488,043	△ 22,052	
その他の収入	210,097	340,565	△ 130,468	
資金収入調整勘定	△ 618,933	△ 668,148	49,215	
前年度繰越支払資金	785,936	785,929	7	
収入の部合計	3,747,777	3,824,743	△ 76,966	
支出の部				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	
人件費支出	1,768,069	1,767,962	107	
教育研究経費支出	562,252	517,120	45,132	
管理経費支出	140,163	126,387	13,776	
借入金等利息支出	0	0	0	
借入金等返済支出	0	0	0	
施設関係支出	7,583	7,466	117	
設備関係支出	87,368	85,355	2,013	
資産運用支出	381,885	484,385	△ 102,500	
その他の支出	120,257	118,754	1,503	
	( 0 )			
[予備費]	15,500		15,500	
資金支出調整勘定	△ 215,300	△ 202,047	△ 13,253	
次年度繰越支払資金	880,000	919,361	△ 39,361	
支出の部合計	3,747,777	3,824,743	△ 76,966	

2. 消費収支計算書

## 消費収支計算書

平成26年 4月 1日から  
平成27年 3月31日まで

(単位 千円)

消費収入の部				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	
学生生徒等納付金	1,870,909	1,857,538	13,371	
手数料	35,726	39,290	△ 3,564	
寄付金	20,640	21,983	△ 1,343	
補助金	693,334	664,463	28,871	
国庫補助金	416,634	367,455	49,179	
地方公共団体補助金	256,422	276,333	△ 19,911	
その他補助金	20,278	20,675	△ 397	
資産運用収入	15,464	11,211	4,253	
資産売却差額	1	0	1	
事業収入	76,652	87,838	△ 11,186	
雑収入	193,662	201,537	△ 7,875	
帰属収入合計	2,906,388	2,883,860	22,528	
基本金組入額合計	△ 63,170	△ 69,685	6,515	
消費収入の部合計	2,843,218	2,814,175	29,043	
消費支出の部				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	
人件費	1,773,069	1,760,364	12,705	
教育研究経費	860,652	818,943	41,709	
管理経費	142,363	128,691	13,672	
借入金等利息	0	0	0	
資産処分差額	15,500	12,473	3,027	
徴収不能額	0	1,522	△ 1,522	
〔予備費〕	( 0 ) 15,500	/	15,500	
消費支出の部合計	2,807,084	2,721,993	85,091	
当年度消費収入支出超過額	36,134	92,182	/	
前年度繰越消費支出超過額	△ 2,924,858	△ 2,924,858	/	
翌年度繰越消費支出超過額	△ 2,888,724	△ 2,832,676	/	

3. 貸借対照表

## 貸借対照表

平成27年3月31日

(単位 千円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	11,429,501	11,365,982	63,519
有形固定資産	8,651,957	8,872,205	△ 220,248
土地	393,929	393,929	0
建物	6,749,639	6,969,724	△ 220,085
その他の有形固定資産	1,508,389	1,508,552	△ 163
その他の固定資産	2,777,544	2,493,777	283,767
流動資産	1,163,272	941,024	222,248
現金預金	919,361	785,928	133,433
その他の流動固定資産	243,911	155,096	88,815
資産の部合計	12,592,773	12,307,006	285,767

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	598,439	608,293	△ 9,854
長期借入金	0	0	0
その他の固定負債	598,439	608,293	△ 9,854
流動負債	740,611	606,857	133,754
短期借入金	0	0	0
その他の流動負債	740,611	606,857	133,754
負債の部合計	1,339,050	1,215,150	123,900

基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	13,876,880	13,807,206	69,674
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	13,519	13,508	11
第4号基本金	196,000	196,000	0
基本金の部合計	14,086,399	14,016,714	69,685

消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	△ 2,832,676	△ 2,924,858	92,182
消費収支差額の部合計	△ 2,832,676	△ 2,924,858	92,182

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	12,592,773	12,307,006	285,767

4. 財産目録

## 財 産 目 録

I 資産総額	12,592,773	千円
内 基本財産	8,653,277	千円
運用財産	3,939,496	千円
収益事業用財産	0	千円
II 負債総額	1,339,050	千円
III 正味財産	11,253,723	千円

区 分	金 額
資産額	
1 基本財産	
土地	182,714 m <sup>2</sup> 393,929 千円
建物	51,743 m <sup>2</sup> 6,749,639 千円
図書	230,352 冊 927,616 千円
教具・校具・備品	10,686 点 419,001 千円
その他	163,092 千円
2 運用財産	
現金預金	919,361 千円
その他	3,020,135 千円
3 収益事業用財産	0 千円
資産総額	12,592,773 千円
負債額	
1 固定負債	
長期借入金	0 千円
その他	598,439 千円
2 流動負債	
短期借入金	0 千円
その他	740,611 千円
負債総額	1,339,050 千円
正味財産(資産総額－負債総額)	11,253,723 千円

参考

## 部門別消費収支決算内訳表

平成26年4月1日から  
平成27年3月31日まで

## 消費収入の部

(単位:千円)

	学園本部	大学	短大	高校	幼稚園	総額
学生生徒等納付金	0	771,544	664,664	392,452	28,878	1,857,538
授業料	0	406,936	336,250	298,522	21,845	1,063,553
入学金	0	66,745	69,250	49,284	1,110	186,389
実験実習料	0	39,563	44,204	0	0	83,767
施設設備資金	0	184,500	147,785	39,800	1,932	374,017
その他の納付金	0	73,800	67,175	4,846	3,991	149,812
手数料	0	14,128	16,114	9,006	42	39,290
寄付金	60	18,558	737	1,841	787	21,983
補助金	0	185,219	186,959	270,932	21,353	664,463
資産運用	7,796	1,742	1,133	540	0	11,211
資産売却差額	0	0	0	0	0	0
事業収入	243	20,599	28,515	32,310	6,171	87,838
雑収入	215	73,245	101,372	26,529	176	201,537
帰属収入合計	8,314	1,085,035	999,494	733,610	57,407	2,883,860
基本金組入額	△ 11	△ 28,555	△ 33,568	△ 7,096	△ 455	△ 69,685
第1号基本金	0	△ 28,555	△ 33,568	△ 7,096	△ 455	△ 69,674
第2号基本金	0	0	0	0	0	0
第3号基本金	△ 11	0	0	0	0	△ 11
第4号基本金	0	0	0	0	0	0
消費収入の部合計	8,303	1,056,480	965,926	726,514	56,952	2,814,175

## 消費支出の部

	学園本部	大学	短大	高校	幼稚園	総額
人件費	34,201	650,076	598,560	434,831	42,696	1,760,364
教員人件費	0	405,914	360,372	380,567	42,685	1,189,538
職員人件費	22,361	185,281	142,137	27,723	11	377,513
役員報酬	11,200	0	0	0	0	11,200
退職金	450	54,958	96,051	23,788	0	175,247
退職給与引当金繰入額	190	3,923	0	2,753	0	6,866
教育研究経費	0	326,962	284,115	187,875	19,991	818,943
管理経費	18,987	54,108	40,688	14,050	858	128,691
借入金等利息	0	0	0	0	0	0
資産処分差額	0	2,004	1,592	8,877	0	12,473
徴収不能額	0	1,522	0	0	0	1,522
消費支出の部合計	53,188	1,034,672	924,955	645,633	63,545	2,721,993
当年度消費収入支出超過額	△ 44,885	21,808	40,971	80,881	△ 6,593	92,182
前年度繰越消費支出超過額	-	-	-	-	-	△ 2,924,858
翌年度繰越消費支出超過額	-	-	-	-	-	△ 2,832,676

<参考> 帰属収支差額(帰属収入-消費支出)	△ 44,874	50,363	74,539	87,977	△ 6,138	161,867
------------------------	----------	--------	--------	--------	---------	---------

6. 部門別決算額推移表(参考)

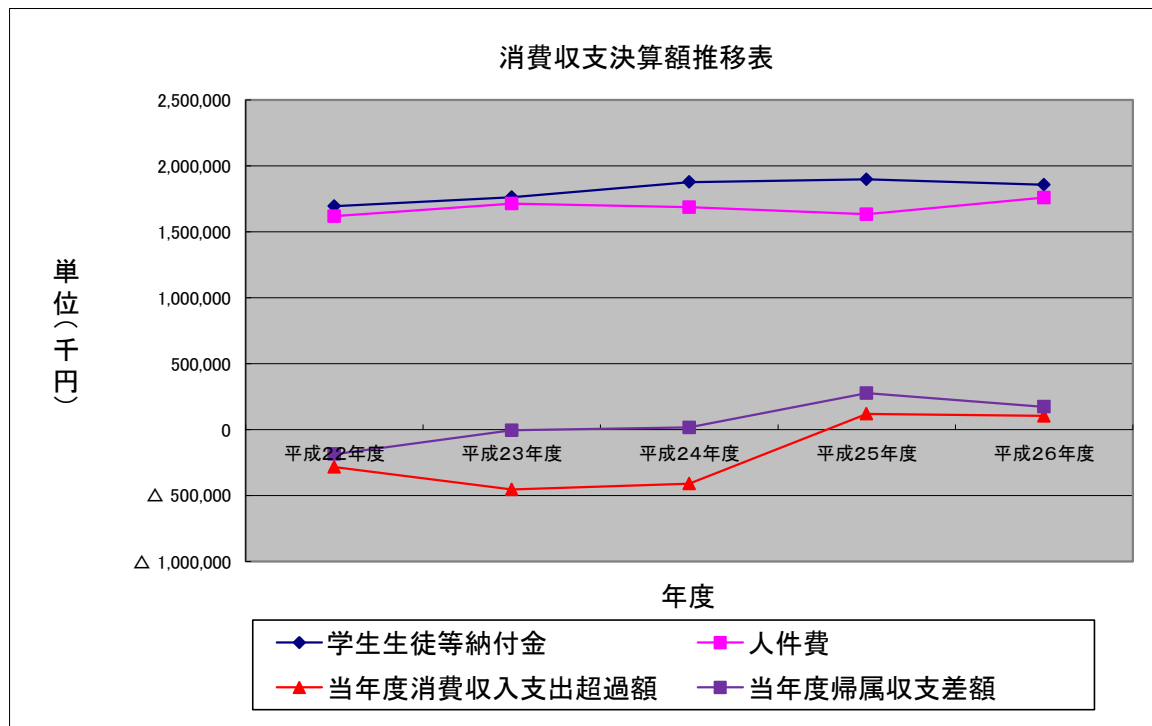
参 考

富山国際学園 決算額推移表

消費収支計算書

(単位:千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
学生生徒等納付金	1,695,351	1,763,784	1,878,350	1,897,993	1,857,538
手数料	33,336	34,306	34,779	34,972	39,290
寄付金	7,340	15,450	42,598	52,848	21,983
補助金	589,435	551,976	511,051	637,963	664,463
資産運用収入	46,488	32,120	35,724	34,971	11,211
資産売却差額	0	0	20,489	0	0
事業収入	73,898	78,357	75,252	93,631	87,838
雑収入	51,438	160,269	213,213	94,163	201,537
帰属収入合計	2,497,286	2,636,262	2,811,456	2,846,541	2,883,860
基本金組入額	△ 98,535	△ 447,446	△ 426,221	△ 156,358	△ 69,685
消費収入の部合計	2,398,751	2,188,816	2,385,235	2,690,183	2,814,175
人件費	1,618,764	1,713,802	1,686,869	1,633,639	1,760,364
(内、退職金等)	(35,821)	(150,419)	(137,471)	(101,040)	(193,313)
教育研究経費	809,187	776,383	838,143	774,892	818,943
(内、減価償却額)	(274,349)	(277,369)	(268,283)	(255,796)	(301,260)
管理経費	118,150	131,736	120,841	147,565	128,691
(内、減価償却額)	(1,979)	(1,916)	(2,004)	(1,677)	(2,256)
借入金等利息	4,428	3,113	536	0	0
資産処分差額	131,808	16,334	147,902	12,928	0
徴収不能額	0	0	0	530	1,522
消費支出の部合計	2,682,337	2,641,368	2,794,291	2,569,554	2,709,520
当年度消費収入支出超過額	△ 283,586	△ 452,552	△ 409,056	120,629	104,655
当年度帰属収支差額	△ 185,051	△ 5,106	17,165	276,987	174,340



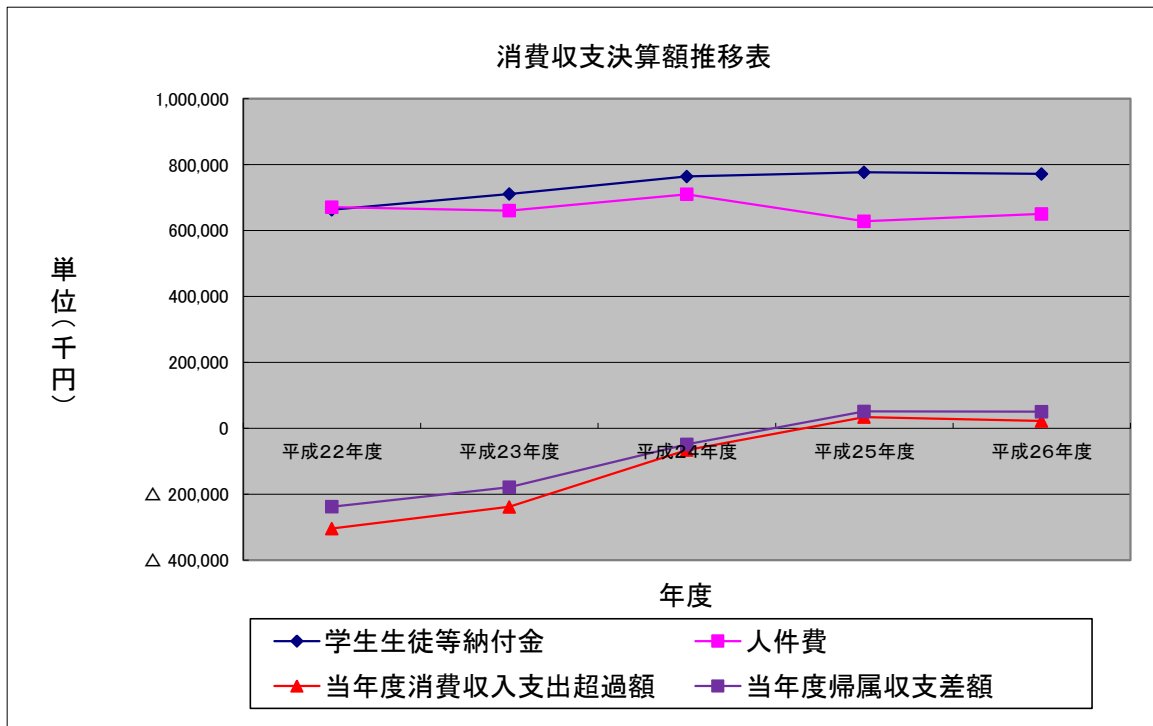


# 富山国際大学 決算額推移表

## 消費収支計算書

(単位:千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
学生生徒等納付金	662,889	710,828	763,937	776,210	771,544
手数料	11,376	10,374	12,103	13,423	14,128
寄付金	3,277	8,895	5,322	7,126	18,558
補助金	183,212	167,565	124,894	216,102	185,219
資産運用収入	2,059	1,594	1,925	1,786	1,742
資産売却差額	0	0	0	0	0
事業収入	14,752	17,936	13,123	22,814	20,599
雑収入	21,442	22,876	147,896	31,929	73,245
帰属収入合計	899,007	940,068	1,069,200	1,069,390	1,085,035
基本金組入額	△ 66,387	△ 59,180	△ 17,068	△ 17,068	△ 28,555
消費収入の部合計	832,620	880,888	1,052,132	1,052,322	1,056,480
人件費	670,409	660,229	709,935	627,743	650,076
(内、退職金等)	(9,863)	(12,903)	(79,478)	(34,997)	(58,881)
教育研究経費	405,061	388,498	355,683	339,265	326,962
(内、減価償却額)	(145,291)	(147,123)	(127,689)	(118,333)	(117,824)
管理経費	57,706	68,361	48,887	49,935	54,108
(内、減価償却額)	(710)	(687)	(789)	(789)	(684)
借入金等利息	2,524	1,893	0	0	0
資産処分差額	1,045	198	3,652	1,496	2,004
徴収不能額	0	0	0	0	1,522
消費支出の部合計	1,136,745	1,119,179	1,118,157	1,018,439	1,034,672
当年度消費収入支出超過額	△ 304,125	△ 238,291	△ 66,025	33,883	21,808
当年度帰属収支差額	△ 237,738	△ 179,111	△ 48,957	50,951	50,363

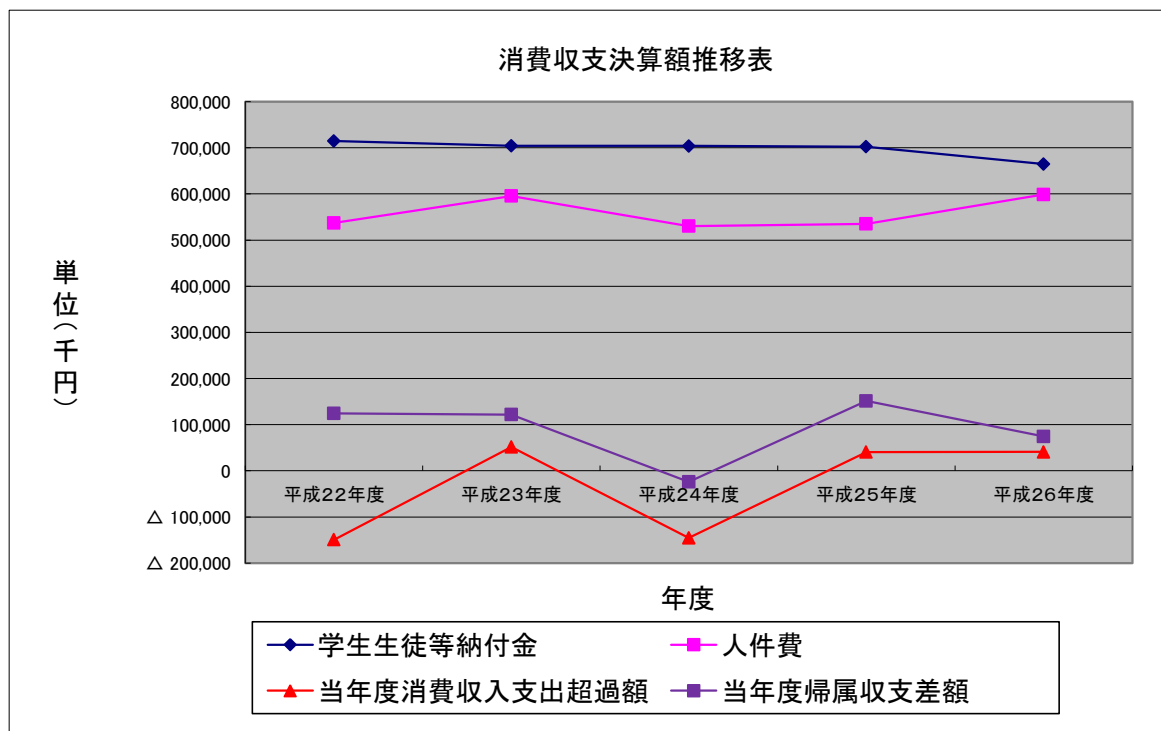


# 富山短期大学 決算額推移表

## 消費収支計算書

(単位:千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
学生生徒等納付金	714,690	704,461	703,960	702,324	664,664
手数料	15,011	14,815	14,553	12,961	16,114
寄付金	2,202	2,356	3,895	24,463	737
補助金	146,576	128,841	122,759	143,183	186,959
資産運用収入	3,397	1,791	1,677	986	1,133
資産売却差額	0	0	17,620	0	0
事業収入	37,925	32,817	27,457	33,877	28,515
雑収入	5,446	87,281	62,710	48,893	101,372
帰属収入合計	925,247	972,362	954,631	966,687	999,494
基本金組入額	△ 273,900	△ 69,989	△ 121,524	△ 110,754	△ 33,568
消費収入の部合計	651,347	902,373	833,107	855,933	965,926
人件費	537,209	595,702	530,467	535,169	598,560
(内、退職金等)	(2,065)	(84,719)	(38,337)	(45,883)	(96,051)
教育研究経費	220,517	216,028	269,785	230,811	284,115
(内、減価償却額)	(81,493)	(80,351)	(81,057)	(74,383)	(116,237)
管理経費	40,499	36,022	42,741	45,861	40,688
(内、減価償却額)	(903)	(839)	(793)	(562)	(1,266)
借入金等利息	804	670	536	0	0
資産処分差額	1,463	1,985	134,968	2,812	1,592
徴収不能額	0	0	0	530	0
消費支出の部合計	800,492	850,407	978,497	815,183	924,955
当年度消費収入支出超過額	△ 149,145	51,966	△ 145,390	40,750	40,971
当年度帰属収支差額	124,755	121,955	△ 23,866	151,504	74,539

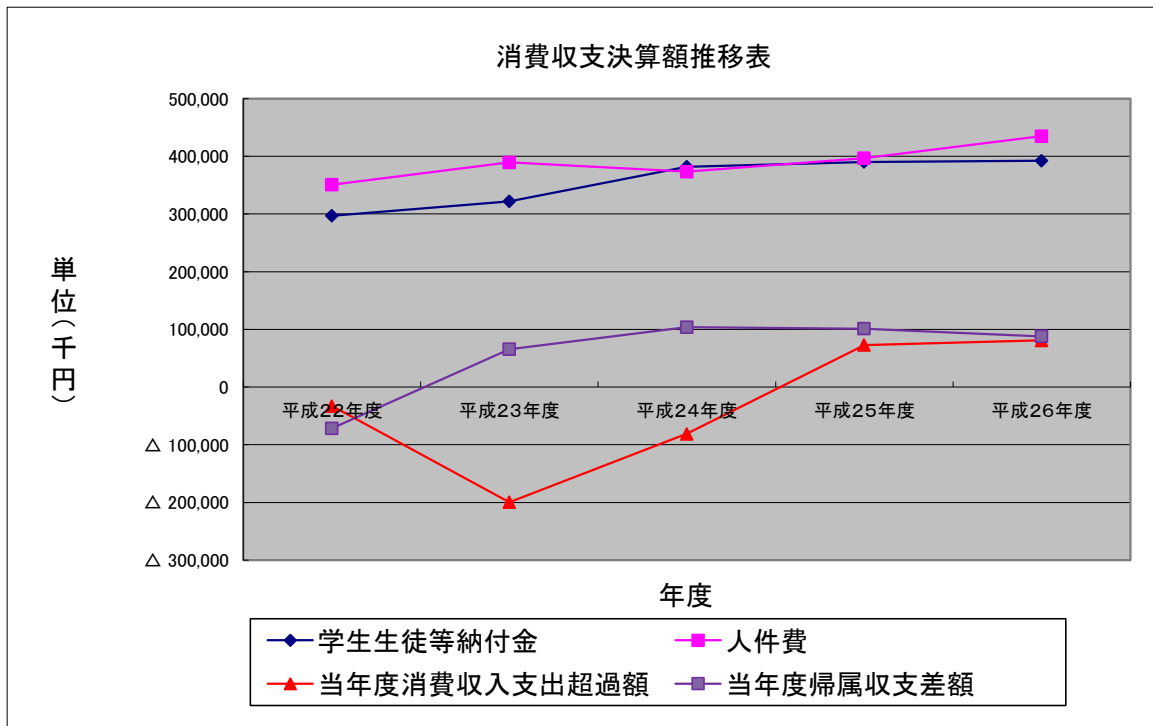


# 富山国際大学附属高等学校 決算額推移表

## 消費収支計算書

(単位:千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
学生生徒等納付金	296,886	322,071	382,005	390,354	392,452
手数料	6,902	9,069	8,082	8,549	9,006
寄付金	1,289	3,361	21,848	6,883	1,841
補助金	239,750	236,894	243,837	258,941	270,932
資産運用収入	66	295	543	503	540
資産売却差額	0	0	2,869	0	0
事業収入	16,552	21,870	28,499	30,390	32,310
雑収入	24,191	41,495	2,387	11,729	26,529
帰属収入合計	585,636	635,055	690,070	707,349	733,610
基本金組入額	38,645	△ 265,349	△ 185,007	△ 28,171	△ 7,096
消費収入の部合計	624,281	369,706	505,063	679,178	726,514
人件費	350,556	389,435	373,229	396,736	434,831
(内、退職金等)	(21,647)	(42,980)	(7,582)	(8,285)	(26,541)
教育研究経費	164,486	150,723	188,488	185,195	187,875
(内、減価償却額)	(41,294)	(43,579)	(54,044)	(57,644)	(61,814)
管理経費	11,660	14,383	15,236	15,654	14,050
(内、減価償却額)	(211)	(251)	(251)	(260)	(241)
借入金等利息	1,100	550	0	0	0
資産処分差額	129,299	14,151	9,282	8,620	8,877
徴収不能額	0	0	0	0	0
消費支出の部合計	657,101	569,242	586,235	606,205	645,633
当年度消費収入支出超過額	△ 32,820	△ 199,536	△ 81,172	72,973	80,881
当年度帰属収支差額	△ 71,465	65,813	103,835	101,144	87,977



# 富山短期大学付属みどり野幼稚園 決算額推移表

## 消費収支計算書

(単位:千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
学生生徒等納付金	20,886	26,424	28,448	29,105	28,878
手数料	47	48	40	39	42
寄付金	573	588	589	826	787
補助金	19,898	18,676	19,561	19,737	21,353
資産運用収入	0	0	5	0	0
資産売却差額	0	0	0	0	0
事業収入	4,669	5,734	6,172	6,253	6,171
雑収入	0	8,434	50	784	176
帰属収入合計	46,073	59,904	54,865	56,744	57,407
基本金組入額	△ 908	△ 920	△ 276	△ 353	△ 455
消費収入の部合計	45,165	58,984	54,589	56,391	56,952
人件費	37,222	46,148	39,747	39,914	42,696
(内、退職金等)	(536)	(8,417)	(172)	(378)	(0)
教育研究経費	19,122	21,134	24,187	19,621	19,991
(内、減価償却額)	(6,270)	(6,316)	(5,493)	(5,437)	(5,385)
管理経費	1,121	655	672	586	858
(内、減価償却額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
借入金等利息	0	0	0	0	0
資産処分差額	0	0	0	0	0
徴収不能額	0	0	0	0	0
消費支出の部合計	57,465	67,937	64,606	60,121	63,545
当年度消費収入支出超過額	△ 12,300	△ 8,953	△ 10,017	△ 3,730	△ 6,593
当年度帰属収支差額	△ 11,392	△ 8,033	△ 9,741	△ 3,377	△ 6,138

